



## 福山市総合防災訓練で活躍

福山市では、11月24日(日曜日)9:00~「福山市総合防災訓練(全市一斉)」が行われました。日吉台学区からの依頼があり、69名の生徒が、日吉台小学校での防災訓練にボランティアとして参加しました。参加した生徒は、ボランティア活動をする共に様々な訓練も体験して、防災について考えることができました。

全体会では、1年生の生徒代表は、これまで学習をしてきた防災について調べたことを、発表する機会を与えていただきました。発表後、地域の方から「よく研究をしている」とほめていただきました。その他にも、防災食の紹介シートや多文化共生の学習で知った「デンロン」と「防災標語」を組み合わせた作品を配付しました。「デンロン」とは、ちょうちん(ランタン)を意味する中国語です。



開会式



デンロンと防災標語



給水訓練

### ◎学区文化祭でボランティア(11/3)

春日小学校、日吉台小学校で、ボランティア活動を行いました。吹奏楽部と新ソーラン隊は堂々とした発表をしました。



### ◎ロボコン出場(11/9)

科学技術部がロボコンに出場して、技術を競いました。



### リアカーで救助活動



### 防災研究発表



### ◎培遠中学校区研究授業(11/22)

培遠中学校区の小中の教職員が、2年生の総合的な学習の時間の授業を参観し、研究協議を行いました。2年生一人一人が作成したコラージュを使って、自分自身の個性を表現する学習内容でした。やさしい雰囲気の中で授業が進んでいきました。



### SDGs発表(11/27)

福山市立大学の土上府教授をお迎えして、1年生がこれまで学習してきたことを発表しました。先生から、講評の中で、大変すばらしい取組になっていると高い評価をいただきました。





## ◎ユネスコスクール事務局からの連絡

10月末に、日本ユネスコ国内委員会（文部科学省国際統括官付）から、提出していた培遠中学校の活動報告書の確認（国内審査）が終了し、無事に、国内審査を通過したとの報告受けました。

次は、ユネスコ本部のOTAのシステムからApplication form（英語での申請）に進むところですが、残念ながら、現在OTAのシステムトラブルのため申請を進められない状況です。ユネスコスクール加盟まであと一息です。国内審査を通過した学校はこれまで100%通過しています。

国内審査を通過できたのは、培遠中学校の生徒の皆さんが、これまで、SDGsについて考え、活動をした実績があったからです。素晴らしいことです。

これからも持続可能な社会の実現のために、学習を続けていきましょう。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。（外務省）

◎ふくやま福祉だより「ほほえみ」第250号(11/30発行)に掲載されました。

## “持続可能な地域社会づくり”の実現を目指して

### 赤い羽根ESD支援プロジェクト(地域テーマ募金)の取組

赤い羽根ESD支援プロジェクトは、各地域の教育委員会・学校等と各市区町社会福祉協議会が連携して“持続可能な地域社会づくり”ができる環境を整備し、その構築された地域コミュニティが継続的に活動できる財源を確保できる環境を整備することを目指し、地域の子どもたちだけでなく、子どもたちを取り巻く大人も、“持続可能な地域社会づくり”の担い手となり、地域コミュニティの関係性、そして地域福祉が向上することを目的に実施しています。

福山市では9校の中学校区（一ツ橋・駅家南・駅家・培遠・城南・鳳・東朋・芦田・大門）が、赤い羽根ESD支援プロジェクトに参加しています。



学区文化祭 小中合同ソーラン

### 培遠中学校区サポート委員会

培遠中学校区の小中学校と保護者・地域が連携し、清掃活動・地域行事への参加といった活動を通して、郷土を愛する心を持ち、地域に貢献しようとする児童生徒の育成に取り組んでいます。



地域交流会



地域清掃活動

表面もご覧ください